

平成27年度 入学式式辞

学部・大学院・特別専攻科への御入学おめでとうございます。ご来賓の本学後援会の原会長並びに副会長の皆様、および列席の本学理事・副学長、学部長・研究科長とともに心からお祝いしたいと思います。

難関の入学試験をパスされ、晴れ晴れとした気持ちで入学されることをお喜び申し上げます。また、これまでご子息ご息女を支えてこられたご参列のご家族の皆様も安堵と期待であふれていらっしゃると思います。その気持ちに応えられるよう、和歌山大学は、学びやすい教育環境を提供していきます。



今年度は、学部として、教育学部169名、経済学部342名、システム工学部308名、観光学部116名、全学で3年次編入生27名が入学されました。大学院として、教育学研究科修士課程34名、経済学研究科修士課程35

名、システム工学研究科博士前期課程126名、博士後期課程11名、観光学研究科博士前期課程10名、博士後期課程6名、特別専攻科として、特別支援教育特別専攻科6名が入学されました。

また、今年度からシステム工学部は、従来の5学科制から1学科制へと大きな改革を行いました。システム工学の理念である複合分野の工学知識を学ぶ方法をさらに高めて、10の教育分野から主要な専門分野を2つ選ぶことで、社会の様々な分野で活躍できる力を身に付けてもらいます。

一方、観光学部では、国際的な研究の拠点となる国際観光学センター（仮称）の設置を進めています。教育学部は、大学院を強化して、実務能力を鍛える教職大学院の設置を進めています。経済学部も1学科制に向けた検討を進めています。このように、和歌山大学は、学ぶ環境を社会の変化に適合するように、不断の改革を続けています。

大学の学びは、高校と大きく違います。

1つ目は、自ら目標をもって、学ぶことです。今までは、大学に入学するのが目的で受験勉強をされてきたと思います。入学後は、その次の目標に向け、将来の夢を持ってください。社会には様々な職業がありますが、どのような分野で自分を生かすのかを考え、自分自身の将来像をデザインしてください。その将来像に必要な知識や技能を身に付けてください。

将来設計は、迷うことが多いです。本学にはキャリアセンターが設置されており、1年生の段階から相談することができます。将来設計のために、是非、訪れてください。また、キャリアセンターには、学生のご家族の方も相談に来て頂けますので、気軽にお訪ねください。

2つ目は、専門知識をしっかりと学ぶことです。

専門知識は、社会で活躍するための基礎的な力となります。それぞれの分野で力を発揮するには、分野特有の知識や技能が必要です。その専門知識を学ぶ環境を提供するのが高等教育機関としての大学の役割です。社会人になるためには、専門知識を深く学んだことに加えて、高い教養と社会人を身に付ける必要があります。社会で専門的な能力を発揮するには、様々な教養が必要となってきます。皆さんの中には、将来、海外で働く人も多数いることでしょう。語学力はもちろんです、その国の文化や習慣について知っている必要があります。また、自分自身を知ってもらうために、日本や和歌山の文化のことを説明する機会もあるでしょう。専門教育だけでなく、教養教育も重要であることを認識してください。さらに、社会性を身に付けるため、是非、クラブ活動への参加も考えてください。

3つ目は、先人の知識を学ぶだけでなく、自ら新たな知識を創造することです。大学では基礎的な専門教育の後、卒業研究を行っていただきます。大学で研究するということは、



未知なるものを探求して新しい事象や知識を発見すること、また、様々な情報から普遍的な規則を創造することです。研究を通じて、社会の発展、進化に貢献することができます。

昨年度のノーベル賞を覚えておられるでしょうか。世界中で使われている新しい光源として、青色発光ダイオードを日本の3研究者が発明しました。日本の研究力は、世界トップレベルです。研究で大切なのは、従来の常識にとらわれず、何度でも課題に挑戦し、新しい発見を行うことです。今日入学された皆さんから世界に大きな貢献ができる研究者が生まれることを期待しています。

充実した大学生活が送れますように、初心を忘れず頑張っていたきたいと
思います。

心からの祝福をもって、ご入学の歓迎のあいさつといたします。

2015年4月5日

和歌山大学長 瀧 寛和

